



外国出張報告書

平成 27 年 3 月 11 日

1. 出張国名 モザンビーク
2. 出張月 平成 27 年 2 月～3 月
3. 出張目的 モザンビーク・ナカラ回廊での農家圃場試験における
生育調査と土壌採取及び現地カウンターパートへの指導業務：A

4. 成果の概要

今年度実施中のダイズとトウモロコシの作付体系、施肥法、および播種時期に関する農家参加型の圃場試験について、ニアサ州リシंगा近郊の Lumbi 集落、ザンベジア州グルエ近郊の Murrimo 集落、ナンプラ州ナンプラ近郊の Muriazi 集落で、それぞれ、19 地点、11 地点、および 17 地点の試験参加農家が確認された。

うち、Lumbi 村と Murrimo 村の各農家圃場において、担当の IIAM カウンターパートとともに、圃場位置の確認、作物生育と雑草管理に関する達観調査、作物のサンプリング調査、作物群落撮影、および土壌採取を行い、そのデータを整理した。

採取した植物サンプルは乾物測定および窒素吸収量の分析に供試するため、乾燥を開始した。採取土壌は、理化学特性の分析に供試するため、風乾後、JIRCAS に持ち帰った。

群落写真撮影は、今回、デジカメの Wi-Fi 機能とスマートフォン端末を用いた遠隔撮影を試みた。端末を見ながら撮影画像を確認でき、また、簡便で作業時間も大幅に短縮されることから、カウンターパートに好評で、今後、トウモロコシなど長大な作物の群落撮影に有用と考えられた。

また、各地点の気象観測装置および土壌水分ポテンシャルセンサーについて動作確認を行い、これまでの記録を整理した。一部の気象観測装置について、太陽光パネルの盗難や計器の不具合がみられ、継続的な運用についての課題が挙げられた。